



k company

問い合わせ | ✉ seiko.kigawa@gmail.com

k company BOOK

k company



Official Site

オフィシャルサイト



Instagram

インスタグラム



Contact

問い合わせ

seiko.kigawa@gmail.com

k company

BOOK

はじめまして、k companyです。

k companyは、
五感を使って
自分のことを知るための場を
創造している会社です。



CEO 木川 誠子
Seiko Kigawa

› プロフィールは 37 ページへ

なぜ、自分を知ることが
大切なのか？

それは

自分の人生を
心身ともに健康な状態で
プレイフルに過ごすため。

自分について理解を深める場を 創造していく。

どんな人生がプレイフルなのか。

それは人それぞれ違うものだけど、
どんなプレイフルな人生にも心身の健康は必要なこと。
当たり前すぎるかもしれませんが、
だからこそ健康に意識が向きにくいのも確かです。
自分はどんなことに喜び、どんなことに落ち込むのか。
どこまで頑張ると身体が、心が疲れるのか。

あなたは自分の身体、心の変化、移り変わりに
フォーカスできていますか？

k companyの事業軸となっているフェムテックを筆頭に、
健康課題への取り組みは、現代において
欠かせないものとなっています。
誰もが当事者ではあるものの、
不調や悩みを抱えていなければ自分事化しにくいもの。

そこで、前向きな(プレイフル)気持ちである

楽しそう! 知りたい! 気になる!

 など、

好奇心や興味、関心を刺激することで
意識変化や行動変化が生まれ、
より多くの人に働きかけることができると考えます。

k companyでは、**五感の刺激をキーワードに、
自分を知るための企画を創造していきます。**

五感の刺激を通して 主体的に生きることの 大切さを伝える。

なんとなくの選択より、
意思ある選択のほうが人生はプレイフル！

では、その意思はどこにある？

意思を自覚するためには自分に関心を持ち、
自分のことを知る必要がある。
劣等感やコンプレックス、自己肯定が低いと感じることも、
自分に関心があるからです。

では、無関心な人には？

“無関心に関心”に
“知らないを知っている”に変えるために、
興味が持てる、好奇心がくすぐられる
事柄からアプローチ。

自分の意思を自覚すると、言動に変化が生まれ、
主体性を持って暮らすことにつながります。
さらには、常に選択肢があることを認識し、
自覚を持って選択していくことの重要性も
伝えていきたいと思います。

循環型のコミュニケーション。

k companyが大切にしているのは、
自分を知ること、自分と向き合うことです。
そのためには他者との向き合い方も大切だと考えています。

それがたとえ商談の場であっても
他者を通して自分を知るというきっかけのひとつになる
循環型の関係性を構築できるよう目指していきます。

また、その関係性はサービス展開にも影響します。
一方的な提案を行わないこと、
そのようなオーダーを受けないことをはじめ、
k companyが主催するサービスでも、協業する場合においても、
お互いの役割に敬意を示し、
言葉を交わせる関係性が、循環型のコミュニケーションだと考えます。

よりよい関係性は、ひとりひとりの能力を引き出し、
サービス内容がよりよくなることにつながっていきます。
そして、そのサービスに触れたひとりひとりにも伝わり、
広がっていくと考えているため、
私たちは循環型のコミュニケーションを大切にしています。

01

k company は 3つの事業があります。

02 03

01 フェムアート事業 P 13

02 制作事業 P 31

03 クリエイターバックアップ事業 P 33

事業-01 フェムアート

フェムアートは、
 k company の核となる事業です。
 フェムテック(知識)とアート(体験)を
 組み合わせた造語で、
 五感を通して自分の心と身体を
 知っていくことを意味しています。

フェムテックと
 アート、
 そして自分自身
 五感で学ぶ心と身体

フェムテック
 Femtech

アート(カルチャー)
 Art



健康課題
性にまつわること

五感で楽しむこと



知識を得ること
知ることが重要

五感を刺激し
感じることも重要

フェムアートとは

知識+体験を同時に経験できること

01

k company はフェムテック、

特に **セクシャルウェルネス** が得意。

Sexual Wellness

フェムテック領域の考えは、

k company のベースにあります。—————

01

フェムテックは大きく7つのカテゴリーに分かれていますが、
k companyはその中でも

セクシャルウェルネスが得意です。

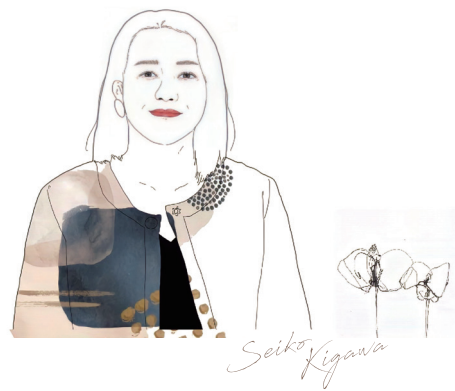
CEOの木川は会社設立前から、
ウェルネス、美容、フェムテックの領域に携わっており、
そのキャリアを通して得た

**豊富な情報や知見を
活用できるのが強み**です。

WHO(世界保健機関)によると、セクシャルウェルネスとは、“身体的、感情的、精神的、社会的に健康な状態のこと”。



CEO 木川のフェムテック道!



私のフェムテック道の始まりは、20歳の頃にさかのぼります。当時、痩身トリートメントや脱毛などを行うエステサロンでアルバイトをしていたのですが、そこではじめてVIO脱毛を体験しました。「気になる!」という、好奇心からです。k companyはプレイフル(前向き)な感覚を大切に、五感を使って自分のことを知るための取り組みをしている会社です。振り返ってみると私のフェムテック道の始まりとなったVIO脱毛も、デリケートゾーン用の

ケアアイテムをオーガニックスーパーで見かけた時も、吸水ショーツがあることを知った時も、「気になるから取り入れてみたい!」というプレイフルな感覚からでした。だから、五感に働きかけることでフェムテックを楽しんでもらえると思います、それがk companyでの事業展開につながっています。

ただ、フェムテックの中でも唯一、気が重いことがあります。それは婦人科検診です。極力病院には行きたくないと思っているし、何回受けても診察台

五感で感じて、思考できるのも健康だから。
フェムテックは心身の健康習慣

に座る時は緊張します。だけど、セルフケアと検診は別物。セルフケアをしているからこそ婦人科検診の重要性がわかります。検診を受けて、今の身体の無事を確認することは、気が重くてもやるべきことです。何かあった時にすぐに対処できるようにしておくためにも。

このカタログの中でも五感を使うことや思考することを大切にしていると思うのですが、それができるのは健康だから。私にとって健康で

あることは最優先項目。栄養バランスを意識した食事、上質な睡眠を心掛けるのと同じで、フェムテックは健康習慣のひとつです。食事制限や運動など、健康習慣はいろいろありますが、続かないこともありますよね。一方でフェムテックは、常に私の興味、関心を刺激してくれるから飽きることはありません。自分自身が楽しんでいるから続けられていると思います。

五感を使って学んでいく

視 覚

嗅 覚

触 覚

聴 覚

味 覚

k companyの最終目標は“**自分を知ること**”です。

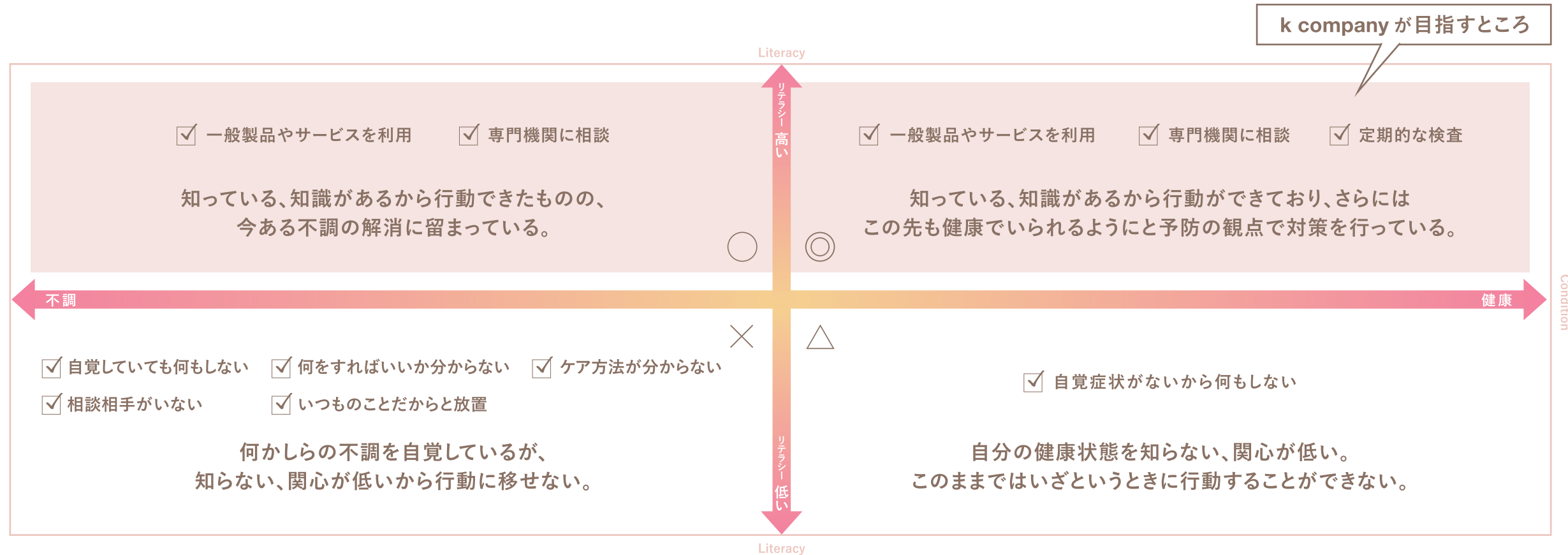
だからこそ、五感へのアプローチが重要だと考えます。

五感が刺激されることで心と身体が動き、
だからこそ、言動の変化につながっていくと考えています。

例えば、ワークショップを開催する場合、
手を動かすプログラムを行い、触覚を刺激。
そのプログラムを通して「楽しかった!」と感じたら、
「何が楽しかったのか」「どんなふう楽しさを実感したのか」
ということを思考する時間を設けます。

ポイントは、**感じることと考えること**を
プログラムに組み込んでいること。
ある種の解を導き出すところまでを盛り込んだサービスを
創造することが k company の仕事です。

知識を得て 行動することが リテラシー向上に つながる



体験＋知識を組み合わせたコンテンツ制作、製品づくり

製品(体験)にコンテンツ(知識)をプラスすることで、製品への理解を深めることができます。

※製品にフェムテックの視点をはじめ、新たな切り口をご提案いたします。
新規参入をお考えの場合は、その視点でのご提案も可能です。

フェムテック視点で考える働きやすい環境づくりのサポート

社員のパフォーマンスを高めるには？

離職者を減らすには？

さまざまな社内課題にフェムテックの考えが役立ちます。

組織に適した働き方を見つけていくための勉強会を行っています。

※プログラム項目はカスタム式です。最適な形でご提案させていただきます。

オリジナルプログラムで実施するワークショップ

ゲストクリエイターやアーティストをお招きしてワークショップを不定期開催しています。

プログラムにフォーマットはなく、決められているのは“五感を刺激して自分を知っていくこと”。

そのため、常にオリジナルのプログラムで開催しているのが特徴です。



鍼灸師の栗本夏帆氏の初著書『うるおいの腔レッチ』（光文社）の出版記念として、トークイベントを女性限定のオンラインサロンにて行いました。もともと栗本氏が主宰していた女性限定のオンラインサロン『女性を幸せにする腔サロン』に、ライターとして『うるおいの腔レッチ』の執筆を担当した木川がゲスト出演した形です。書籍制作の舞台裏などをお話しました。

◆（2022年3月実施）



<https://college.femtech-japan.com/>

2022年12月にローンチした、ナレッジサイト『フェムテックジャパンカレッジ』の記事制作を行っております。

◆（2023年現在継続中）



2023年8月デビューのCBDを配合したライフスタイルブランド『カンナビプラス』事業にジョインし、商品開発からカタログなどの制作などを担当しております。

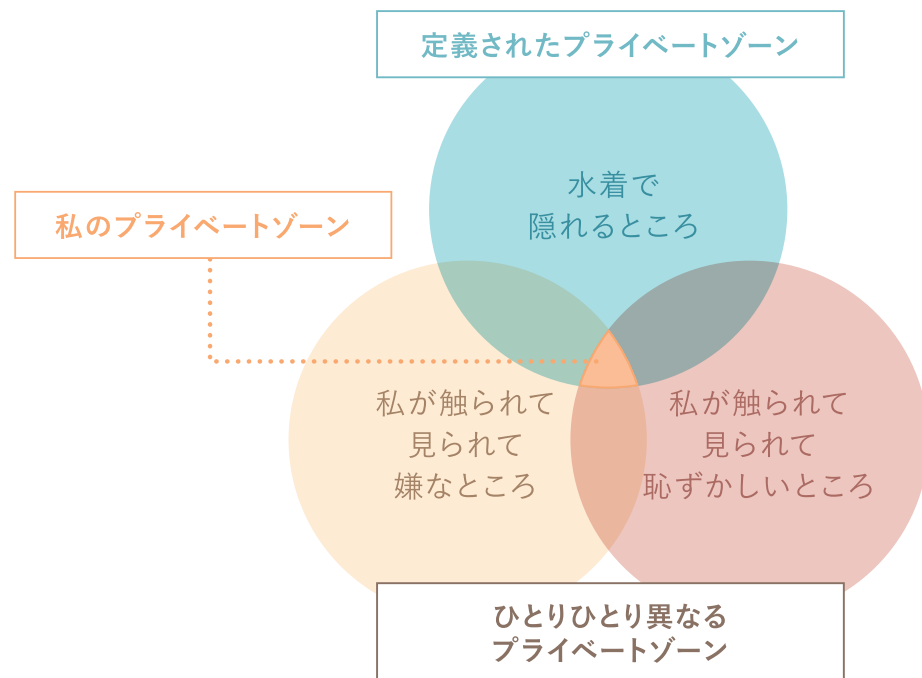
◆（2023年現在継続中）

Service

Coming soon...

READY BOXと家族向けのワークショップを考案中。

READY?



\ 内容(予定)先出し! /

定義されたプライベートゾーンはあるものの、感覚はひとりひとり異なるため、自分だけのプライベートゾーンが存在します。だからこそ、そのことを認識し、家族やパートナー間であっても個人のプライベートゾーンを尊重することが重要。

事業-02 制作

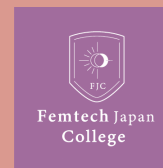
k companyでは、CEOがエディター・ライター業を長年行っている強みを生かし、企業パンフレット、メディアのコンテンツなど、さまざまな制作を行っております。案件ごとに最適なクリエイターをキャスティングし、本質を捉えたアウトプットを意識しています。



実績

Femtech

フェムテック領域



ナレッジサイト
『フェムテックジャパンカレッジ』
記事制作

CANNA
PLUS

CBDライフスタイルブランド
『カンナビプラス』
カタログやリーフレットなど制作



土地引き取り事業
『Land Issues』
企業パンフレット

Others

その他ジャンル

03

事業-03 クリエイターバックアップ事業

k company の事業には、
クリエイターやアーティストの存在は必要不可欠。
フェムテックに限らず、クリエイター・アーティストが活躍できる場、
コンテンツを作り、クリエイティブ制作で生活が送れることを
目指したサポートをしています。



アートに出合える、

アートが買える

スポット を創造。

ギャラリーや美術館はアートに出会いに行く場所ですが、
日常生活で訪れるオフィスや手荷物預かり所、教室などに
アートがあると、より“アートに出合える”
確率が高まると考えました。
そこで、アートと出合えるタッチポイントを増やすことで
クリエイターのプロモーションになると考え、
アートがあるのが当たり前ではないスポットで
作品の展示販売を行う取り組みをしています。

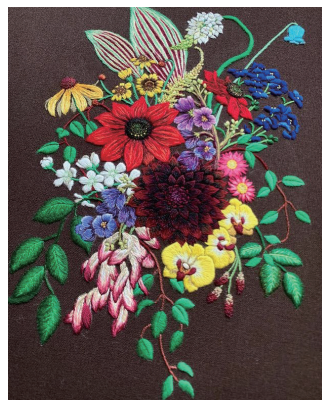
03

スポット／一覧



高尾にあるブリザードフラワー&アロマ教室 桜世
<http://www.sakurayo.com/>

クリエイター／一覧



刺繍作家 目黒 愛
Instagram @ai.meguro



プライベートヴィンテージショップのお直し屋さん
KIRA CLOSET couture
Instagram @kiraclousetcouture

※スポット、クリエイターともに随時募集中

アートに出会える、

アートが買える

スポット

始動!



高尾駅北口から徒歩1分のところにある「桜世」で、刺繍作家・目黒愛さんの作品とKIRA CLOSET coutureの作品の展示販売が始まりました。通りから見られる場所に設置しておりますので、お近くに行った際はぜひ、チェックしてください。作品の詳細はウェブサイトで公開しています。

k company CEO 木川 誠子 Seiko Kigawa



SNS

Instagram : @seiko.kigawa
Twitter : @KIRACLOSET
Beauty blog : https://www.cosme.net/specialist/seiko_kigawa

ライフオーガナイザー1級
アロマ心理
公認フェムテックマイスター™
アットコスメビューティスペシャリスト

PROFILE

出版社勤務を経て2009年に独立。フリーランスのエディター・ライターとしてウェルネスや美容、インテリアなど、ライフスタイルにまつわるコンテンツを発案し、ディレクションから執筆までを一貫して担当。また、妹とともに「KIRACLOSET」を主宰し、ヴィンテージショップを営んでいる。2002年頃からフェムテックにまつわることに関心を抱き、2016年頃から仕事として取り組む中で、その大切さを実感。本気で取り組むため“フェムアートプロジェクト”を立ち上げる。2022年に「k company」を設立。あえてフリーランスとしての活動は残し、取材・執筆も続けている。

フェムテック関連の実績

- ウェブメディア『フェムテックtv』レギュラーライター
- ナレッジサイト『フェムテックジャパンカレッジ』デスク
- 一般社団法人日本フェムテック協会主催
認定講座1級のテキスト制作(一部)
- フェムテック本『うるおいの腔レッチ』執筆

etc

Credit

design / Junko Kobayashi
photo / Sachi Kataoka
illustration / iLLiL
edit & text / Seiko Kigawa

Special thanks

Atsushi Saito
Kanao Iwata
Kenji Kuhara
Sayoko Kurotobi
Yoshiyuki Miyazaki

k company


Official Site
オフィシャルサイト




Instagram
インスタグラム




Contact
問い合わせ

seiko.kigawa@gmail.com